

# 日米共同で敵基地攻撃

## 2プラス2共同発表

大軍拡 米「強く支持」

米海兵隊 沖縄に新部隊

（写真）2010年4月の共同発表式典

日本政府は12日（日本時間12日）、米ワシントンで外交・軍事担当閣僚による安全保険施設議定書（2プラス2）を開催しました。政府が昨年末に閣議決定した安保3文書と日本の敵基地攻撃能力（反撃能力）保有を明記したことと並んで、日本の同能力の「効果的な運用」における、日米間の協力を深化させることを明記。日米共同で敵基地攻撃を実行することを盛り込みました。

岸田政権は安保3文書で、「自衛防衛」を投げ捨て、連携の敵基地攻撃能力の保有に初めて踏み込みました。一方で、連携の敵基地攻撃能力の強化と「歓迎」。軍事費の倍化など大幅拡充針についても、米側は「強く支持する」と表明しました。わいど、共同発表は、起じたうるあらゆる事態への「統合」した形での対応の必要性に觸及。「日本による複数の統合軍事設備の決定を歓迎した」と強調した上で、「同盟におけるより効果的な指揮・統制関係を検討する」と明言。米軍

（2プラス2）に臨む（左から）岸田謙一防衛相、林芳正外相、アーリン・ケンブリッジ國務長官、オースティン国防長官（写真：11日午後、米ワシントンの国務省（外務省提供））

を統合して、米軍（沖縄県内）建設についで、「普天間飛行場の継続的な使用を回復するための唯一の解法」であるとの認識から「決議」を認めた。昭和37年に実現した日米安全保障条約第5条の発動があり、「M」（米軍）は艦艇（サイルなどを装備）に改編する計画を確認しました。M軍は、沖縄での作戦が想定されています。日本側は林芳正外相と浜田靖一防衛相、米側はアーリン・ケンブリッジ國務長官とオースティン國務長官が出席しました。

嘉手納飛行場（沖縄県嘉手納町）の日米共同使

用も認定。自衛隊の火薬庫が置かれる計画です。

さゆり、「南西諸島地域における施設の共同使用の拡大、共同演習・訓練を増加させね」と強調。先島諸島の日米共同基盤化や民間空港、港湾の軍事利用拡大が示されました。鹿児島（鹿児島県）の鹿児島（鹿児島市）への米軍空母艦機動群（F.O.U.P.）の移転に伴う日米施設建設も実現します。辺野古新基地（沖縄県石垣市）建設についで、「普天間飛行場の継続的な使用を回復するための唯一の解法」であるとの認識から「決議」を認めた。昭和37年に実現した日米安全保障条約第5条の発動があり、「M」（米軍）は艦艇（サイルなどを装備）に改編する計画を確認しました。M軍は、沖縄での作戦が想定されています。日本側は林芳正外相と浜田靖一防衛相、米側はアーリン・ケンブリッジ國務長官とオースティン國務長官が出席しました。



日米安全保障施設議定書（2プラス2）に臨む（左から）岸田謙一防衛相、林芳正外相、アーリン・ケンブリッジ國務長官、オースティン国防長官（写真：11日午後、米ワシントンの国務省（外務省提供））

（写真）2010年4月の共同発表式典

日本政府は12日（日本時間12日）、米ワシントンで外交・軍事担当閣僚による安全保険施設議定書（2プラス2）を開催しました。政府が昨年末に閣議決定した安保3文書と日本の敵基地攻撃能力（反撃能力）保有を明記したことと並んで、日本の同能力の「効果的な運用」における、日米間の協力を深化させることを明記。日米共同で敵基地攻撃を実行することを盛り込みました。

岸田政権は安保3文書で、「自衛防衛」を投げ捨て、連携の敵基地攻撃能力の保有に初めて踏み込みました。一方で、連携の敵基地攻撃能力の強化と「歓迎」。軍事費の倍化など大幅拡充針についても、米側は「強く支持する」と表明しました。わいど、共同発表は、起じたうるあらゆる事態への「統合」した形での対応の必要性に觸及。「日本による複数の統合軍事設備の決定を歓迎した」と強調した上で、「同盟におけるより効果的な指揮・統制関係を検討する」と明言。米軍

（2プラス2）に臨む（左から）岸田謙一防衛相、林芳正外相、アーリン・ケンブリッジ國務長官、オースティン国防長官（写真：11日午後、米ワシントンの国務省（外務省提供））

を統合して、米軍（沖縄県内）建設についで、「普天間飛行場の継続的な使用を回復するための唯一の解法」であるとの認識から「決議」を認めた。昭和37年に実現した日米安全保障条約第5条の発動があり、「M」（米軍）は艦艇（サイルなどを装備）に改編する計画を確認しました。M軍は、沖縄での作戦が想定されています。日本側は林芳正外相と浜田靖一防衛相、米側はアーリン・ケンブリッジ國務長官とオースティン國務長官が出席しました。